

平成 30 年度 第 2 回 蕨市介護保険運営協議会 議事録

日時	平成 31 年 3 月 11 日 (月) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分
場所	蕨市立 1 階 講座会議室
出席委員 (敬称略)	<p>会長 濱口 豊太 野島 三恵 西牧 修也 鈴木 勇</p> <p>大須賀 美雪 庄 喬</p> <p>土肥 仁美 服部 浩子 熊谷 修作</p>
事務局:健康福祉部 介護保険室	<p>室長 岡田 陽一 室長補佐 小川 有紀子</p> <p>係長 檜山 裕太 係長 野口 恵子 主事 山縣 良太</p>
会議次第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議 題</p> <p>・介護保険特別会計予算 (30 年度補正・31 年度当初) について</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉 会</p>
配布資料	<p>資料 1-1 介護保険特別会計予算の概要 (対前年度比較) 歳入</p> <p>資料 1-2 介護保険特別会計予算の概要 (対前年度比較) 歳出</p> <p>資料 2 平成 30 年度 3 月補正予算・平成 31 年度当初予算</p> <p>資料 3 第 7 期計画期間給付費</p> <p>資料 4 介護保険の 1 号保険料の低所得者軽減強化</p> <p>資料 5 第 7 期介護保険事業計画作成のための地域分析・検討結果記入シート</p> <p>資料 5-2 サービス見込量の進捗管理のための作業シート</p>

議事録 要旨

1. 開 会	
2. 会長あいさつ	<p>平成 30 年度 2 回目の蕨市介護保険運営協議会を始めます。</p> <p>今年度の 2018 年度は第 7 期計画の 1 年目でございます。本日は 2018 年度の事業の状況と、次年度の 2019 年度、第 7 期計画の 2 年目に向けての確認になると思います。</p> <p>蕨市におきましては、今年度までに地域密着型サービスのなかで、随時対応型の訪問介護看護サービスの準備を行い、次年度より開業されるということになって、これまでになかったサービスが整備され、地域密着型サービスは、グループホームなど様々なサービスが展開されています。</p> <p>充実していくということは重要なことではありますが、予算がありますので、どのように介護の支援に繋げていくのかや、市役所の計画通りにする、あるいは計画に対しての意見をするなど、この協議会で検討して、意見を出して、事務局の方に戻してまいりたいと思います。</p> <p>短い時間ではございますが、委員の皆様の忌憚のないご意見をいただきまして、蕨市の介護保険の事業、運営について意見をまとめてまいりたいと思いますのでよろしくお願い致します。</p> <p>朱書き</p>
3. 議題 介護保険特別会計 30 年度補正 31 年 度当初について	資料 1-1、資料 1-2 により事務局から説明の後、質疑応答
委 員	資料 1-1 国庫支出金の内訳にある保険者強化推進交付金分について、サービス提供事業所等の努力により、どのくらい伸ばしていくことが出来るものですか。
事務局	<p>保険者機能強化推進交付金は、国の一定の指標に沿い、各保険者が自主点検して、その点数と、第 1 号被保険者数により決定されます。</p> <p>全国で一番点数の高い保険者がどのくらいの点数、金額となったか、蕨市が全国でどの順位に位置しているかは分かりませんが、予算規模としては全国で約 200 億円です。</p>
会 長	国庫補助金の保険者機能強化推進交付金の蕨市の使い道はどのようになりますか。
事務局	自立支援、重度化防止の要となる地域包括支援センターの事業と考えています。

委員	<p>重度化していないとか改善率が良いと国からインセンティブとして交付金があります。自分たち事業所の努力によって、少しでも収入を増やすことができるのであれば、頑張っってやっていくようにしたいので気になりました。</p>
事務局	<p>この交付金については、事業者におけるインセンティブとは若干異なり、特に改善度ということではなく、国で自立支援、重度化防止の取組の指標があり、保険者がその取組みを実施しているかどうかで点数が変わってまいります。</p> <p>その中で、今お話しがありました事業所の皆様の取組みとしては、自立支援型地域ケア会議の取組みも指標にありまして、事業者の皆様の協力をいただいているところでございます。</p> <p>また、今後国が、効果や必要性を判断し、指標を変更することが想定されており、保険者としては同じ事業をしていれば良いということでもなく、その都度、新しい情報を仕入れて取組みを進めていかなければならないと考えております。</p>
会長	<p>保険者の機能強化交付金ということで、今後、指標も変わってくるかもしれないということでした。</p> <p>必ずしも介護度を一つの基準としてやるだけではなく、もっと細かく表現できるよう、取組みやコストパフォーマンスを評価・表現して、役に立っているということを示せるよう努力が必要と思います。</p>
事務局	資料2、資料3により事務局から説明の後、質疑応答
委員	資料2 介護保険施設サービスにある介護医療院とありますが、どういう人が利用するどのような介護サービスですか。
事務局	<p>以前から介護療養型医療施設については、介護老人保健施設に転換を図っていたところですが、利用者さんもいらっしゃるなので移行がなかなか進まず移行期限の延長が続いている状況の中で、新たな施設体系が創設され、介護療養型医療施設を介護老人保健施設や介護医療院に転換していくものです。</p>
委員	なるべく介護療養型医療施設ではなく、介護老人保健施設か介護医療院にということ、それは移行期のためのものですか。

事務局	移行期のためではなく今後定着していくものです。
事務局	看取りの要素を新たに取り入れられている施設になります。実際は色々な施設で看取りがされているのですが、それを明確に定義としていれて、介護医療院を設定しているということになります。
委員	重症な方や、医療対応が必要な方に対応する施設ということですね。
会長	介護老人保健施設は、本来は数か月間の利用を原則としているところですが、それが長く利用が続いていたりするなどの現状があることから介護医療院という体系が出来たということですね。蕨市内に介護医療院はありますか。
事務局	蕨市内に介護医療院はありませんが、介護療養型医療施設としてわらび北町病院がございます。
会長	利用実績があるのは、他市の介護医療院を蕨市の被保険者が利用した方がいたということですね。
<b>4. その他</b>	資料4により、事務局から説明の後、質疑応答
会長	第一号保険料の低所得者の保険料の軽減強化の説明でございました。これは国が決めていることで資料のとおりですね、配布いただいた資料を見ることで、後に、先ほど見た平成31年度の予算が、今後変更になっていくということでした。
事務局	資料5、資料5-2により、事務局から説明の後、質疑応答
会長	予算が少しずつ増えてきていまして、前年度比9～10%くらいでこれまで推移していますが、それが適正なのかどうかはいかがでしょうか。
事務局	少し伸びが抑えられないかなというところはもちろんございます。後期高齢者の伸び率が3%台後半くらいなので、3%台後半となっていますので、そこに落ちつければ適正と思いますが、施設が増えたりなどで予算は見ていかなければならないので現状は致し方ないというか、流石に現状の伸び率はどこかで頭打ちにならないのかなと思います。

<p>会 長</p>	<p>10年間で100%ということになってしまいますので、それは税金をそこに投じるのかとなります。今、重度者や後期高齢者がどのくらい増えている、介護が必要な方がこれくらいいるのでということで予算を立てているのかなと理解はします。</p> <p>もう1点、1人当たり利用者をPDCAサイクルというかチェックして、どのように使ったかといくことをサイクルして見直しをしながら、有効に予算を使って、サービスを良くしていこうという方策だと思います。</p> <p>ステップ1からステップ4までの解析は蕨市独自のものですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>シート自体は全国的なものでして、今回、先ほどのPDCAサイクルに乗せていくという観点から、こういうことも報告していくということになりまして、他市でも同様のものを県に提出しています。</p>
<p>会 長</p>	<p>その際の適正かどうかという根拠は、人口の伸びから勘案してこのくらいの伸びだということは理解できます。</p> <p>一方で、計画値と実績値が一致というのも分かります。そしてもう少し踏み込むとすれば、重度な人には予算が使われている。軽度な人には重度化しないための予算として適正に使われているということが分かる指標があると、もっと踏み込んで、蕨市が使っているお金が適正に利用されているかが分かるかなと思います。</p> <p>また、予測値の立て方ですが、何人くらいが後期高齢者になり、そのうち何人くらいが介護認定を受けるのかということで、私たちがあれば近似する関数などから予測する数式を作るのですが、そういったものはありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>計画を作る際は、国のシステムを使って、過去の伸びを見ながら、市が多少調整を加えながら予測をしています。内容としては、1人当たりの給付費の目安となる金額を登録し、回数はどれくらい、被保険者はどのくらい伸びるかなどの調整をし推計ができるシステムを国がつくってまして、蕨市も調整を重ねながら予測を立てています。</p>
<p>会 長</p>	<p>計画を作成するためのアプリケーションが全国の保険者で利用できるようになってきているということですね。</p> <p>計画を作る際はということでしたので、もし、蕨市用の予測する式・方法が作れたらいいと思います。</p>

<p>会 長</p>	<p>私たちはサービスの見込み量などをお金でしか見えていないので、お金の換算しないところで指標を見えるようにすることも考えていった方がいいと思いました。</p> <p>他にも私たち以外にも色々な委員会などで、介護保険のお金の使い方などをチェックされていると思うので、それらデータを突き合わせて、介護保険の運営が円滑に、滞りなく進むように皆さんの知恵をお借りできればと思っております。</p>
<p>委 員</p>	<p>満足度という、介護サービスを利用した方へ、例えば訪問介護がどのように良かったとかアンケートを取っていますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>事業者向けのアンケートは実施しておりません。</p>
<p>委 員</p>	<p>協議会の議題として、適正にやっていることに加え、歳市の特性として、何が課題で何をしていかなければならないのかいけないのかという踏み込んだことまで話していいのでしょうか。</p> <p>数字から、事業の現実的な意味が見えてくると、意見が言いやすくなっていくのかなと思います。</p> <p>私は委員でありながらも現場のケアマネジャーでもありますので、サービス料のこともケアマネジャーなので我々の判断次第で変わってくることもありますし、満足度ということも変わってくると思いますので、ここで課題となったことは、そのまま我々現場の課題であって、全事業者に共有していかないとならないと思います。</p> <p>協議会で話がしていけるといいと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>協議会でございますので、予算の決定は出来ませんが、協議会の意見としてまとめ、事務局へお伝えしていくことができます。事務局を通して、政策に反映してもらえるよう意見をまとめるようになります。</p> <p>大学の中でも、満足度評価があり、学生に授業を受けて良かったかどうか。それから教員が学生に授業をして十分かどうかという二面性の評価をPDCAサイクルで図り開示することになっています。</p> <p>認知症のある方にアンケートを行っても分からないところがあると思いますが、いずれにしても主観的な評価というのが、どの業界でも必要になる。お金の換算しない評価の資料、それは各事業所がすることもありますが、何か参考になる資料があればいいなと思います。</p>

委員	クレームなども重要になってきて、保険者には集まっているかなと思うので、教えていただくと参考になるかなと思います。
会長	介護保険に対するご意見というのは、パブリック・コメントなどしていますか。意見をいただくことはありますでしょうか。
事務局	<p>計画策定時は、パブリック・コメントとして歳全体として広く意見を求めています。その他では特段、機会を設けてということはありませんが、その都度、クレームやご意見をお受けしています。</p> <p>相談窓口という訳ではありませんが、市が保険者ということになりますので、そういったところでお受付しています。要介護認定などでは埼玉県へ異議申し立てのようなやり取りができる仕組みになっています。</p>
委員	クレーム先が保険者という認識があると思います。
会長	寄せられたご意見を集約して、色々な好循環を生み出す仕組みの一つの説明資料になると良いですね。
委員	<p>平成30年度の実績の報告は次回ありますでしょうか。</p> <p>委員の皆さんの意見は、予算化されたものが適正に執行されたということが、果たして予算どおり使われたということなのか、施策に反映されて、それが効果として、どのように表れているのかということだと思います。</p> <p>資料5で考察としてあるような資料が、それがどんな課題を生んだか、どういう効果を生んだかということが分かると、次に繋がるものになるのではないかと思います。次回までに私も考えていきたいと思っています。</p>
事務局	平成30年度の実績は、次回お示ししたいと考えております。
会長	<p>資料5-2は自己点検された、計画値と実績値の差異からどう捉えるかというものだと思います。</p> <p>委員がおっしゃるように、これが適正かどうかという考察は、自己点検の中でもやらないといけないですし、おそらく、ステップ4に書かれたことが集約されたことだと思いますので、委員の皆様にはここを見ていただき、あるいは、介護保険室からの情報として開示・提供していくこともあるといいかなと思います。</p>

委員	蕨市では認定の有効期限が24か月から36か月に変わると思いますが、そこから予算の削減はありますか。
事務局	<p>期待しているところです。1人当たり認定調査から審査会と、段階を経て結果を決定していますが、1件あたり約1万円経費がかかっています。</p> <p>認定の有効期間はお一人お一人認定審査会で審査していただいております。皆さんの有効期間が3年間になる訳ではありませんけれども、結果として、負担軽減につながっていればよいと思っています。</p>
委員	蕨戸田歯科医師会は、埼玉県から委託を受けたことにより、蕨戸田地区の地域在宅歯科医療推進窓口地域拠点を開設しましたので紹介します。
会長	他にございませんようですので、本日用意のありました協議会の内容を終了させていただきます。進行を事務局に戻させていただきます。
5. 閉会	